

令和3年

火災・救急・救助  
などの活動概況



©稲沢市いなッピー  
火の用心

稲沢市消防本部

# 目 次

稲沢市管内概要 .....	1
119番受信概況 .....	2
緊急出動概況 .....	3
訓練指導及び調査概況 .....	5
予防概況 .....	7

## **火災**

火災概況 .....	10
年別出火件数・年別損害額 .....	11
署別出火件数・月別出火件数 .....	12
曜日別出火件数・時間別出火件数 .....	13
火災による死傷者数 .....	14
出火原因別出火件数・出火原因の推移 .....	15

## **救急**

救急概況 .....	16
種別ごとの救急出場件数 .....	17
署別救急出場件数・月別救急出場件数 .....	18
医療機関別搬送人員・時間別救急出場件数及び搬送人員 .....	19
傷病程度別搬送人員 .....	20
収容所要時間別搬送人員 .....	21
曜日別救急出場件数及び搬送人員 .....	22

## **救助**

救助概況 .....	23
------------	----

# 稲沢市管内概要

## 面積・人口・世帯数

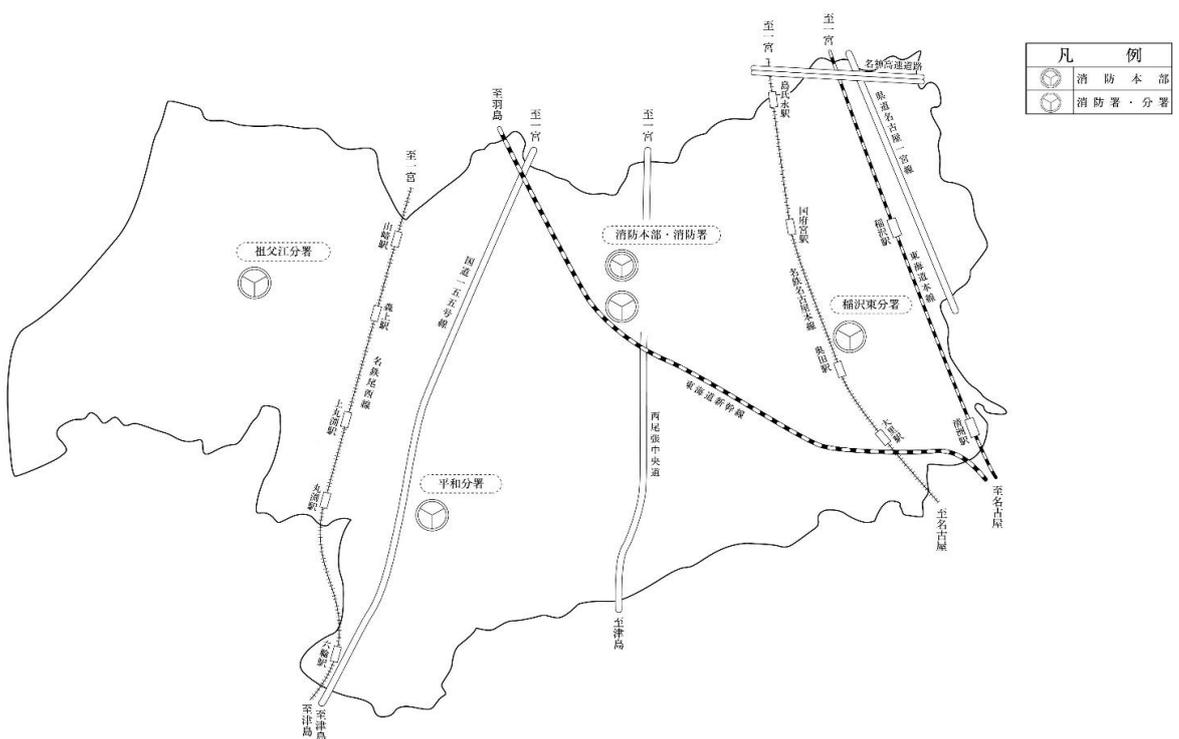
令和4年1月1日現在

区分	面積(k㎡)	人口(人)			世帯数
		男	女	合計	
稲沢市	79.35	67,040	68,231	135,271	55,725

## 消防本部・消防署・消防指令センター 名称・所在地

名称	所在地
消防本部・消防署	稲沢市船橋町鯉坪321番地1
稲沢東分署	稲沢市井之口沖ノ田町37番地
祖父江分署	稲沢市祖父江町上牧下川田454番地
平和分署	稲沢市平和町中三宅高道34番地
一宮市・稲沢市消防指令センター	一宮市緑一丁目1番10号(一宮市消防本部内)

## 消防本部・消防署配置図



## 119番受信概況

119番受信状況は、次表のとおり7,701件で、前年と比較して121件増加し、1日当たりの平均受信件数は約21件となっている。

増加した理由としては、救急、救助件数が増加したためである。

119番受信区分では、固定電話からが4,040件で52.5%、携帯電話からが3,661件で47.5%の割合となっている。

年別	区分	火災	救急	救助	その他	合計
令和元年	固定電話	26	3,455	16	1,131	4,628
	携帯電話	65	2,658	43	945	3,711
	合計	91	6,113	59	2,076	8,339
令和2年	固定電話	19	2,973	13	1,068	4,073
	携帯電話	52	2,414	32	1,009	3,507
	合計	71	5,387	45	2,077	7,580
令和3年	固定電話	13	3,044	10	973	4,040
	携帯電話	57	2,627	60	917	3,661
	合計	70	5,671	70	1,890	7,701

(注)「その他」は、警戒、訓練通報、間違い、病院問い合わせ等

## 緊急出動概況

消防部隊の緊急出動状況は、第1表のとおり7,541件で、前年と比較して442件増加している。

1日当りの平均出動件数は約21件となっている。

また、火災、救急及び救助出動以外に1,470件の緊急出動をしている。緊急出動を種別に見ると、救急出場が5,830件(77.3%)と最も多く、次いで、救急支援出動が1,324件(17.6%)警戒出動が146件(1.9%)の順となっている。

**第1表 緊急出動状況 (件)**

種別 署別		火災	救急	救助	警戒	救急支援	合計	比率(%)
本署	令和2年	32	1,432	54	82	275	1,875	26.4
	令和3年	38	1,527	81	39	379	2,064	27.4
稲沢東分署	令和2年	23	2,425	20	58	458	2,984	42.0
	令和3年	26	2,594	37	45	566	3,268	43.3
祖父江分署	令和2年	9	807	12	49	173	1,050	14.8
	令和3年	18	804	8	35	167	1,032	13.7
平和分署	令和2年	21	901	11	51	206	1,190	16.8
	令和3年	20	905	13	27	212	1,177	15.6
合計	令和2年	85	5,565	97	240	1,112	7,099	100
	比率(%)	1.2	78.4	1.4	3.4	15.6		
	令和3年	102	5,830	139	146	1,324	7,541	100
	比率(%)	1.4	77.3	1.8	1.9	17.6		

- (注) 1 「警戒出動」とは、ガス漏れ、怪煙、即時通報、漏油、障害物及びその他の災害の発生が予想されるときに出動するものをいう。
- 2 「救急支援出動」とは、119番通報時の救急要請において心肺機能停止傷病者と判断されたとき、交通事故等の発生場所が幹線道路のとき、その他、救急支援隊の出動が必要と判断されたときに、消防隊を出動させるものをいう。

緊急出動件数を月別に見ると、第2表のとおりである。

火災、救急及び救助出動以外では、救急支援出動は月平均で約110件、警戒出動は月平均で約12件出動している。

**第2表 月別緊急出動状況 (件)**

種別・署別		月別												小計	合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
火災	本署	2	3	5	6	3	1	5	1	4	4	4		38	102
	稲沢東分署		1	1	2	3	1	3		1	3	4	7	26	
	祖父江分署	1	1	3	3	1	1	1	1	2	2	1	1	18	
	平和分署	1	1	3	2	1	1	1	1	2	2	4	1	20	
	小計	4	6	12	13	8	4	10	3	9	11	13	9	102	
救急	本署	143	115	122	112	116	124	132	146	121	140	118	138	1,527	5,830
	稲沢東分署	231	197	212	208	210	217	214	243	173	238	216	235	2,594	
	祖父江分署	71	74	59	61	49	64	71	75	66	70	68	76	804	
	平和分署	89	79	68	78	75	62	94	72	66	64	75	83	905	
	小計	534	465	461	459	450	467	511	536	426	512	477	532	5,830	
救助	本署	12	6	10	3	3	4	8	7	7	7	6	8	81	139
	稲沢東分署	4	3	5	1	2	3	4	3	4	3	1	4	37	
	祖父江分署	1	1						3		1	1	1	8	
	平和分署	1	1	2			1	3		1	2	1	1	13	
	小計	18	11	17	4	5	8	15	13	12	13	9	14	139	
警戒	本署	8	3	2	6	3	3	2	1	5	2	4		39	146
	稲沢東分署	8	3	3	5	4	3	5	2	5	2	2	3	45	
	祖父江分署	6	6	2	3	2	5	1	2	3	1	3	1	35	
	平和分署	3	4	2	2	3		1	2		3	5	2	27	
	小計	25	16	9	16	12	11	9	7	13	8	14	6	146	
救急支援	本署	34	26	23	33	27	27	32	36	38	36	32	35	379	1,324
	稲沢東分署	55	44	45	47	55	50	37	50	23	57	53	50	566	
	祖父江分署	20	12	13	13	11	14	10	13	11	13	17	20	167	
	平和分署	28	18	18	15	11	14	21	17	16	15	18	21	212	
	小計	137	100	99	108	104	105	100	116	88	121	120	126	1,324	
合計	718	598	598	600	579	595	645	675	548	665	633	687	7,541		

## 訓練指導及び調査概況

訓練指導及び調査状況は、第1表のとおり合計823件で、前年と比較して146件増加している。

訓練指導については、自主防災会、事業所及び教育機関の合計105団体に対して訓練指導を実施した。

調査状況については、住宅用火災警報器アンケート調査が326件（39.6%）、次いで、地理水利調査が310件（37.7%）実施した。

**第1表 訓練指導及び調査状況**

(件)

種別 署別		消防団訓練指導	自主防災会訓練指導	事業所訓練指導	教育機関訓練指導	普通救命講習会	消防署見学	住宅用火災警報器 アンケート調査	地理水利調査	枯草調査	はしご車接梯調査	合計	比率(%)
本署	令和2年	2	7	64	9	10	17	43	83	2	1	238	35.2
	令和3年	15	6	35	13	28	11	106	74	1	0	289	35.1
稲沢東分署	令和2年	0	4	21	7	2	4	51	95	1	0	185	27.3
	令和3年	1	1	13	6	3	3	105	75	3	0	210	25.5
祖父江分署	令和2年	0	1	6	4	0	1	29	83	0	0	124	18.3
	令和3年	1	1	5	3	0	1	76	81	1	0	169	20.6
平和分署	令和2年	0	2	15	7	0	3	26	74	3	0	130	19.2
	令和3年	10	2	14	6	1	2	39	80	1	0	155	18.8
合計	令和2年	2	14	106	27	12	25	149	335	6	1	677	100
	比率(%)	0.3	2.1	15.6	4.0	1.8	3.7	22.0	49.5	0.9	0.1		
	令和3年	27	10	67	28	32	17	326	310	6	0	823	100
	比率(%)	3.3	1.2	8.1	3.4	3.9	2.1	39.6	37.7	0.7	0		

(注) 訓練指導、講習会及び見学は、各種団体等からの依頼に基づき行うものをいう。

月別訓練指導及び調査状況は、第2表のとおりである。

第2表 月別訓練指導及び調査状況

(件)

種別・署別		月別												小計	合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
消防団 訓練指導	本署				14	1								15	27
	稲沢東分署					1								1	
	祖父江分署								1					1	
	平和分署				9	1								10	
	小計	0	0	0	23	3	0	0	1	0	0	0	0	27	
自主防災会 訓練指導	本署			1	2						3			6	10
	稲沢東分署											1		1	
	祖父江分署											1		1	
	平和分署						1					1		2	
	小計	0	0	1	2	0	1	0	0	0	3	3	0	10	
事業所 訓練指導	本署		1	4	3	1	2	8	1		4	9	2	35	67
	稲沢東分署	1	3		1	1	1					5	1	13	
	祖父江分署	1					1					1	2	5	
	平和分署		2	1		2	3	1			2	2	1	14	
	小計	2	6	5	4	4	7	9	1	0	6	17	6	67	
教育機関 訓練指導	本署			2	1		1	1			6	2		13	28
	稲沢東分署										2	1	3	6	
	祖父江分署											3		3	
	平和分署	1									1	4		6	
	小計	1	0	2	1	0	1	1	0	0	9	10	3	28	
普通救命講習会	本署			1	2	1	5	3	10			1	5	28	32
	稲沢東分署											2	1	3	
	祖父江分署														
	平和分署											1		1	
	小計	0	0	1	2	1	5	3	10	0	0	4	6	32	
消防署見学	本署	1									3	5	2	11	17
	稲沢東分署											2	1	3	
	祖父江分署											1		1	
	平和分署		1										1	2	
	小計	1	1	0	0	0	0	0	0	0	3	8	4	17	
住宅用火災警報器アンケート調査	本署	56											50	106	326
	稲沢東分署	55											50	105	
	祖父江分署	41											35	76	
	平和分署	15											24	39	
	小計	167	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	159	326	
地理水利調査	本署	8	6	8	1	7	4	8	8	6	4	6	8	74	310
	稲沢東分署	6	6	6	1	2	9	10	9	13	8	3	2	75	
	祖父江分署	8	15	5	10	11	6	3		8	8	4	3	81	
	平和分署	4	8	3	5	10	12	2	10		13	7	6	80	
	小計	26	35	22	17	30	31	23	27	27	33	20	19	310	
枯草調査	本署	1												1	6
	稲沢東分署	1						2						3	
	祖父江分署		1											1	
	平和分署										1			1	
	小計	2	1	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	6	
はしご車 接梯調査	本署													0	0
	稲沢東分署													0	
	祖父江分署													0	
	平和分署													0	
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計		199	43	31	49	38	45	38	39	27	55	62	197	823	

# 予 防 概 況

消防関係法令・火災予防条例に基づく届出状況は、第1表のとおりである。

1日当たりの届出状況は平均13件であり、届出状況を見ると消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果報告書が最も多く、1,767件（38.5%）で、次いで道路工事届出書が1,040件（22.6%）となっている。

なお、新型コロナウイルス感染症対策に伴い、届出の一部は電子メールや郵送による受付を実施している。

**第1表 消防関係法令・火災予防条例に基づく届出状況**

届 出 項 目	件 数	比 率
工 事 整 備 対 象 設 備 等 着 工 届 出 書	156	3.4
消 防 用 設 備 等（ 特 殊 消 防 用 設 備 等 ） 設 置 届 出 書	159	3.5
消 防 用 設 備 等（ 特 殊 消 防 用 設 備 等 ） 点 検 結 果 報 告 書	1,767	38.5
防 火 管 理 者 選 任（ 解 任 ） 届 出 書	232	5.0
消 防 計 画 作 成（ 変 更 ） 届 出 書	256	5.6
道 路 工 事 届 出 書	1,040	22.6
消 防 職 員 の 派 遣 ・ 指 導 ・ 消 防 訓 練 実 施 届 出 書	682	14.8
変 電 ・ 蓄 電 ・ 発 電 ・ 急 速 充 電 設 備 設 置 届 出 書	35	0.8
禁 止 行 為 の 解 除 承 認 申 請 書	16	0.3
催 物 開 催 届 出 書	2	0.1
露 店 等 の 開 設 届 出 書	17	0.4
溶 接 溶 断 作 業 届 出 書	90	1.9
防 火 対 象 物 使 用 開 始 届 出 書	72	1.6
防 火 対 象 物 点 検 結 果 報 告 書	57	1.2
ヒートポンプ・サウナ・ボイラー・給湯湯沸設備設置届出書	14	0.3
合 計	4,595	100

区分別消防同意状況は、第2表のとおりである。

**第2表 区分別消防同意状況**

(件)

区分	月別												合計	比率
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
新 築	2	9	11	9	5	7	5	10	13	12	7	6	96	74.4
増 築	3	1	3	4	2	3	4	2	2	2	2	2	30	23.3
改 築													0	0
用 途 変 更	1							1		1			3	2.3
そ の 他													0	0
合 計	6	10	14	13	7	10	9	13	15	15	9	8	129	100

消防用設備等の検査状況は、第3表のとおりである。

**第3表 消防用設備等の検査状況**

(件)

消防用設備等	月別												合計	比率	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
消 火 設 備	屋 内 消 火 栓 設 備	1	4	8	2	2	3	2	2	8	2	1	6	41	23.3
	パ ッ ケ ー ジ 型 消 火 設 備		1					1						2	1.1
	ス プ リ ン ク ラ ー 設 備		1	1					1	2			4	9	5.1
	屋 外 消 火 栓 設 備	1		1				1		2	1			6	3.4
	泡 消 火 設 備													0	0
	粉 末 消 火 設 備									1				1	0.6
	ガ ス 消 火 設 備													0	0
	動 力 消 防 ポ ン プ 設 備													0	0
警 報 設 備	自 動 火 災 報 知 設 備	4	5	11	3	7	3	2	2	13	2	1	6	59	33.5
	消 防 機 関 へ 通 報 す る 火 災 報 知 設 備			1						3			2	6	3.4
	非 常 警 報 器 具 ・ 設 備								1	1	2			4	2.3
	非 常 放 送 設 備		2	2					1	1			1	7	4.0
	漏 電 火 災 警 報 器													0	0
避 難 設 備	避 難 器 具			1			1		1	2	1	1		7	4.0
	誘 導 灯 ・ 誘 導 標 識	1	3	4	2		1	1	2	6	3		5	28	15.9
そ の 他	消 防 用 水				1			1		1				3	1.7
	連 結 送 水 管									1		1		2	1.1
	非 常 コ ン セ ン ト 設 備											1		1	0.6
	排 煙 設 備													0	0
合 計	7	16	29	8	9	8	8	10	41	11	5	24	176	100	

危険物製造所等は287施設であり、その内の危険物製造所等の許可・届出状況は、第4表のとおりである。

**第4表 危険物製造所等の許可・届出状況** (件)

製造所等別 区分		製 造 所	貯 蔵 所						取 扱 所				合 計	
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タン ク 貯 蔵 所	屋 内 タン ク 貯 蔵 所	地 下 タン ク 貯 蔵 所	簡 易 タン ク 貯 蔵 所	移 動 タン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所		一 般 取 扱 所
許 可	設 置		1									1	2	
	変 更	2	4		2		3		5			40	56	
仮 使 用 承 認		2	3		1				5			39	50	
完 成 検 査	設 置		1		1								2	
	変 更	2	4		2		3		5			42	58	
予 防 規 程 認 可													0	
軽 微 な 工 事 届					2				11			32	45	
品 名 ・ 数 量 ・ 倍 数 変 更 届			2									4	6	
保 安 監 督 者 選 任 ・ 解 任 届		1	12	5	2				11			6	37	
廃 止 届			2		2	1							5	
合 計		7	29	5	2	11	0	6	0	37	0	0	164	261

# 火 災 概 況

火災の状況を前年と比較すると第1表のとおり、出火件数は56件で11件増加し、建物火災は5件増加しているが、全体的に損害額は減少している。

火災種別ごとでみると、建物火災が28件で、全体の50%と最も高い割合となっている。

**第1表 令和3年中の火災状況と前年との比較**

区 分	単位	令和3年(A)	令和2年(B)	増減(C) (A-B)
出火件数	件	56	45	11
建物火災		28	23	5
車両火災		6	4	2
その他の火災		22	18	4
焼損棟数	棟	30	31	△1
全焼		4	9	△5
半焼		1	1	0
部分焼		6	11	△5
ぼや		19	10	9
建物焼損床面積	m <sup>2</sup>	590	598	△8
死者	人	0	0	0
負傷者		5	3	2
り災世帯	世帯	40	10	30
り災人員	人	51	25	26
損害額	千円	21,729	41,682	△19,953
建物火災		21,268	40,846	△19,578
車両火災		138	776	△638
その他の火災		323	60	263
出火率	%	4.1	3.3	0.8

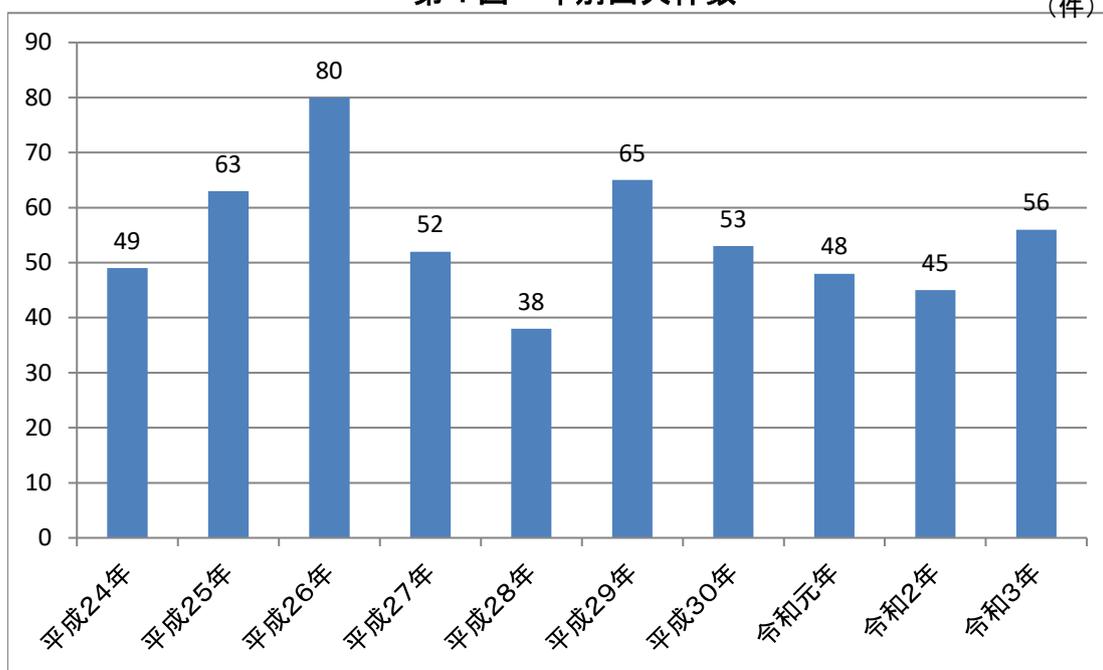
- (注) 1 死者は、火災により負傷した後、48時間以内に死亡した者をいう。  
 2 出火率は、人口1万人当たりの出火件数の割合をいう。

## 年別出火件数

過去10年間の出火件数の推移をみると第1図のとおり、平成26年の出火件数が80件と最も多くなっており、最も少ない年は平成28年で38件である。

令和3年の1日当たりの出火件数は0.15件であり、6.5日に1件の割合で火災が発生したことになる。

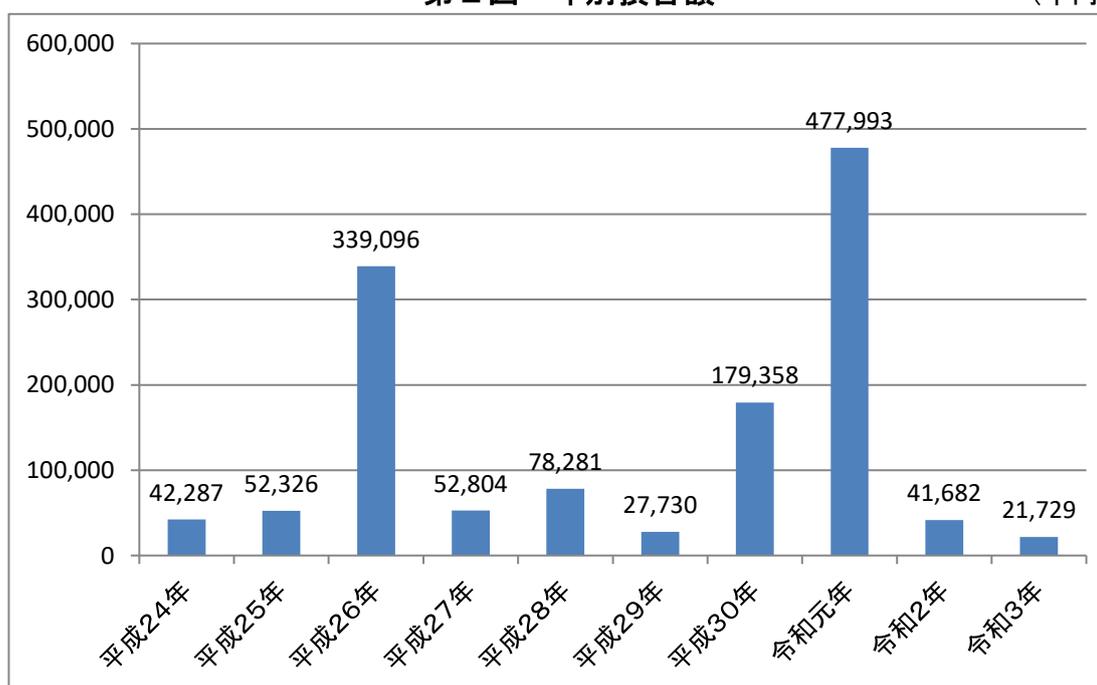
第1図 年別出火件数



## 年別損害額

過去10年間の損害額の推移をみると第2図のとおり、令和元年の損害額が477,993千円と最も多く、令和3年は21,729千円と最も少なくなっている。

第2図 年別損害額



## 署別出火件数

出火件数の56件を署別にみると第2表のとおり、本署が19件と最も多く、祖父江分署の9件が最も少なくなっている。

署別出火件数を前年と比較すると、平和分署を除いた各署で増加しており、全体数で11件増加し、24.4%の増加率となっている。

第2表 署別出火件数前年比較

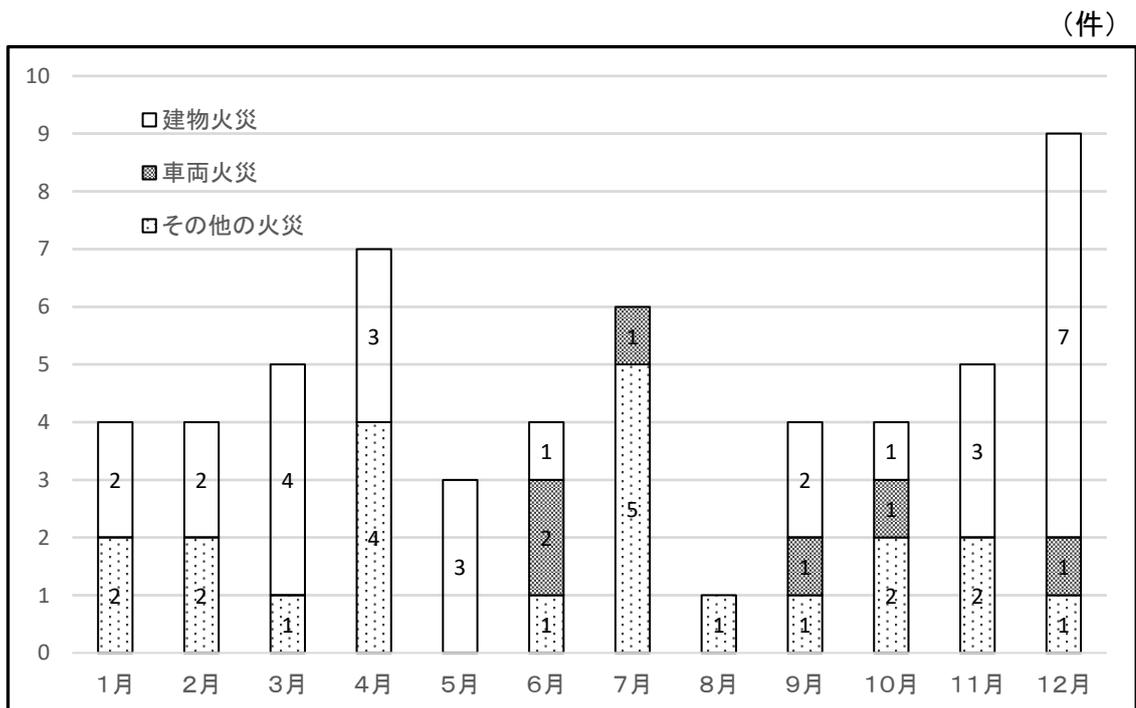
	令和3年(A) 出火件数	令和2年(B) 出火件数	増減(C) (A-B)	増減(%) (C/B)
本署	19	15	4	26.7
稲沢東分署	18	12	6	50.0
祖父江分署	9	5	4	80.0
平和分署	10	13	△3	△23.1
合計	56	45	11	24.4

## 月別出火件数

出火件数の56件を月別にみると第3図のとおり、8月が1件と最も少なく、12月が9件と最も多く発生した。

火災種別ごとにみると建物火災は12月が7件、車両火災は6月に2件、その他の火災は7月に5件と最も多く発生している。

第3図 月別出火件数

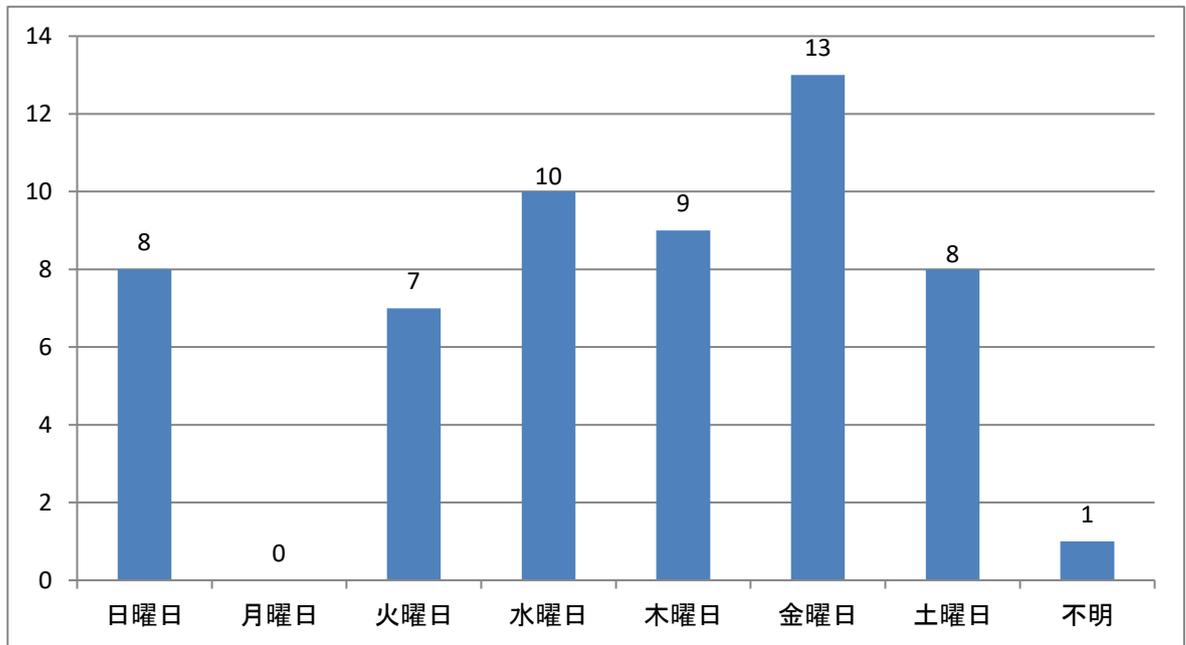


## 曜日別出火件数

出火件数の56件を曜日別にみると第4図のとおり、金曜日が13件と最も多く発生した。

第4図 曜日別出火件数

(件)



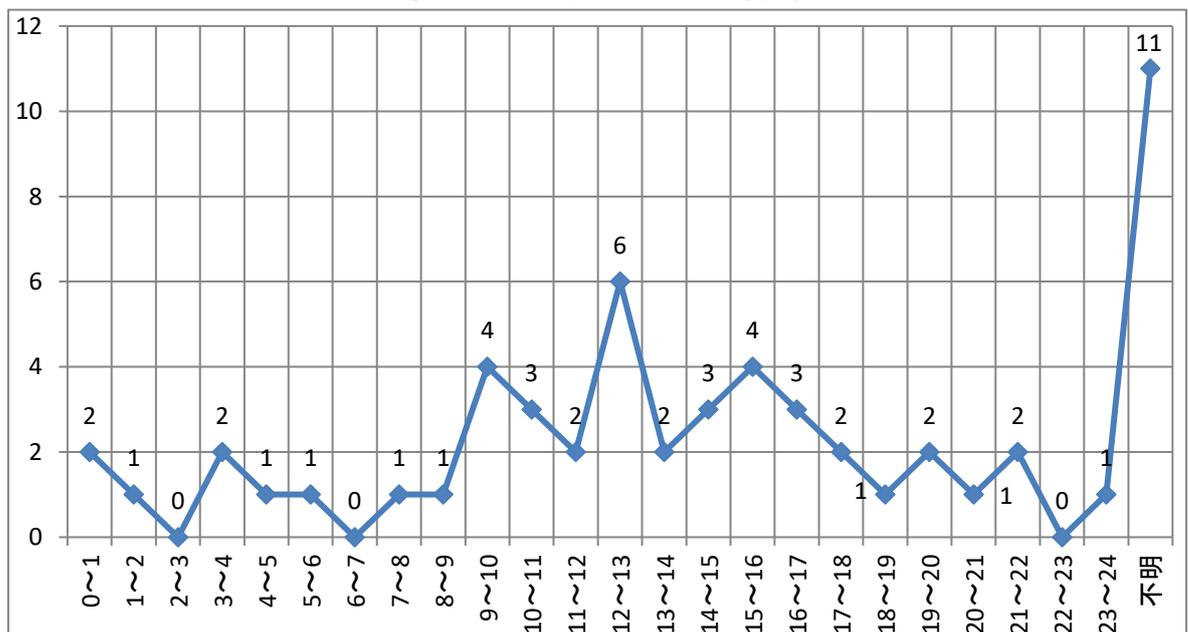
## 時間別出火件数

出火件数の56件を時間別にみると第5図のとおり、12時から13時までが最も多く6件発生しており、深夜から早朝にかけての時間帯は出火件数は少ない。

なお、時間不明については、火災が鎮火した後に消防に通報等があり、出火時間の特定が困難なものである。

第5図 時間別出火件数

(件)



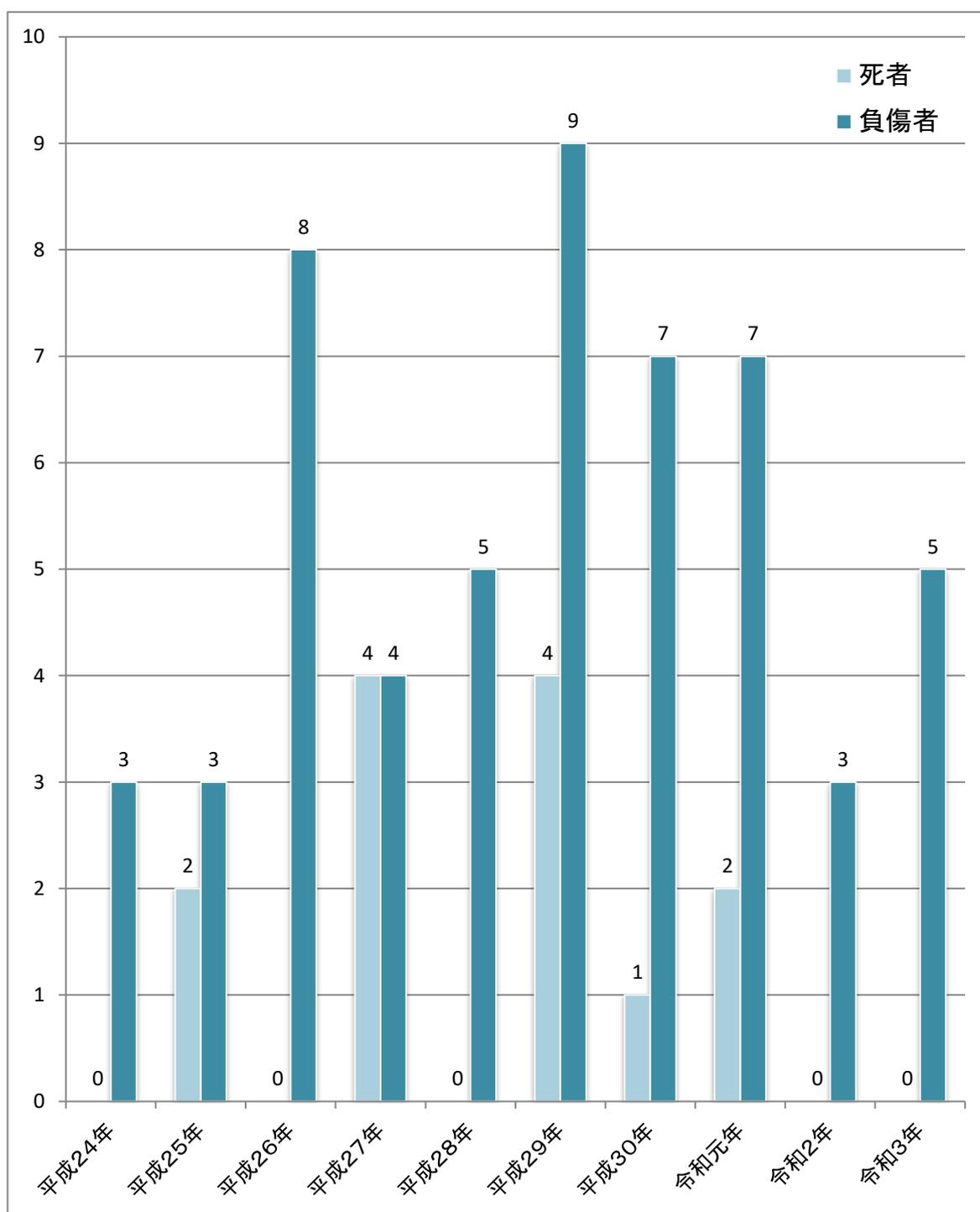
## 火災による死傷者数

令和3年の火災による死傷者発生状況については、死者0人、負傷者5人であった。

過去10年間の死傷者数は第6図のとおり、死者数は平成27年及び平成29年が4人と最も多くなっている。

負傷者数は、平成29年が9人と最も多く、次いで平成26年の8人の順となっている。

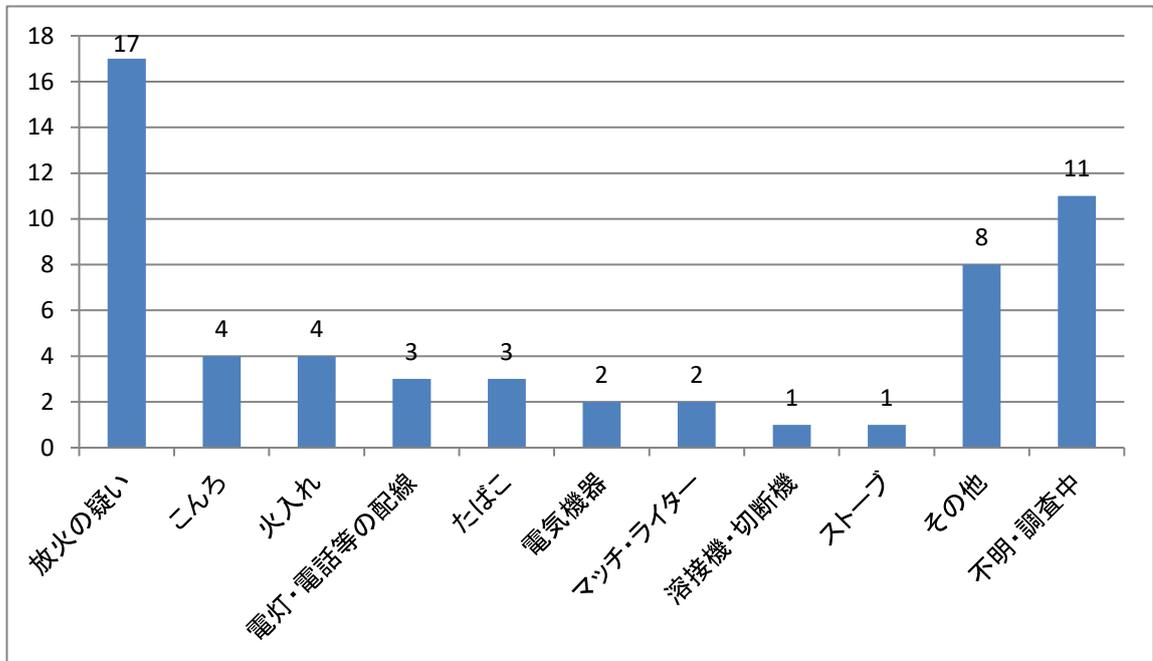
第6図 年別死傷者数 (人)



## 出火原因別出火件数

出火件数の56件を出火原因別にみると第7図のとおり、放火の疑いによる火災が17件と多く発生し、全体の約30%を占めている。

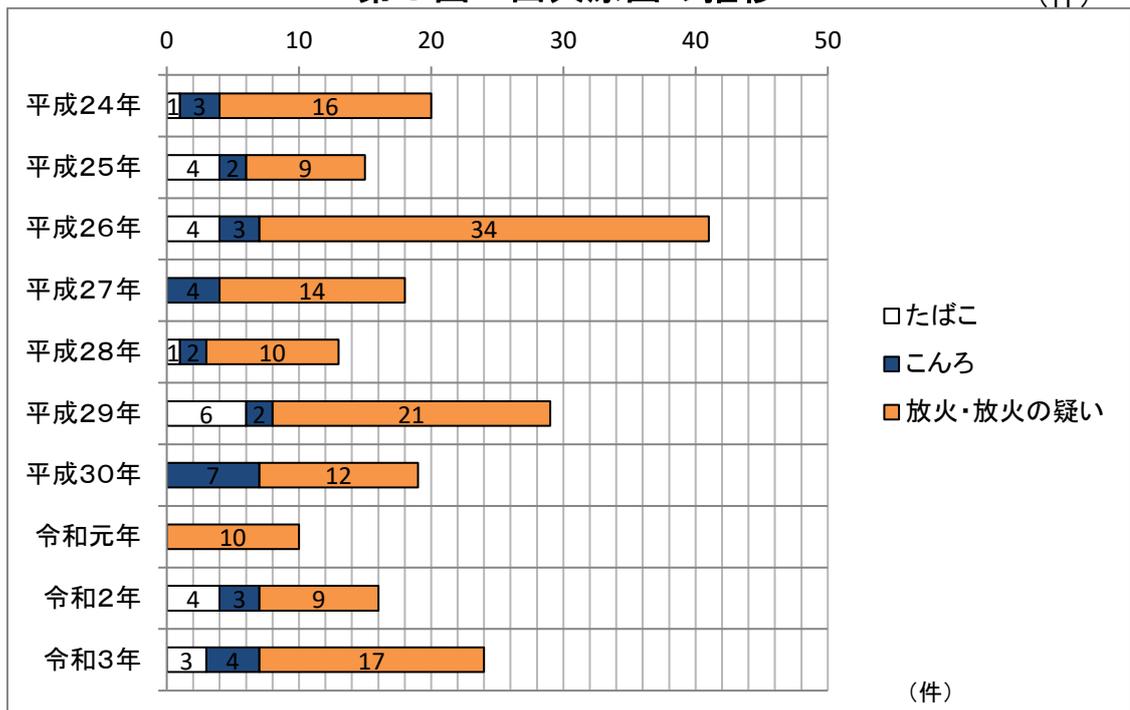
第7図 出火原因別出火件数 (件)



## 出火原因の推移

過去10年間の主な出火原因の推移をみると第8図のとおり、毎年、放火・放火の疑いによるものが出火原因のトップを占め、平成26年が34件と最も多く発生している。

第8図 出火原因の推移 (件)



# 救 急 概 況

救急業務実施状況は、第1表のとおり救急出場件数は5,830件で前年と比較して265件増加している。1日当りの平均出場件数は、約16件の割合で救急隊が出場したことになる。

また、搬送人員は5,603人で前年と比較して227人増加している。

なお、当消防本部管内の住民24人に1人が救急隊によって搬送されたことになる。

第1表 救急業務実施状況

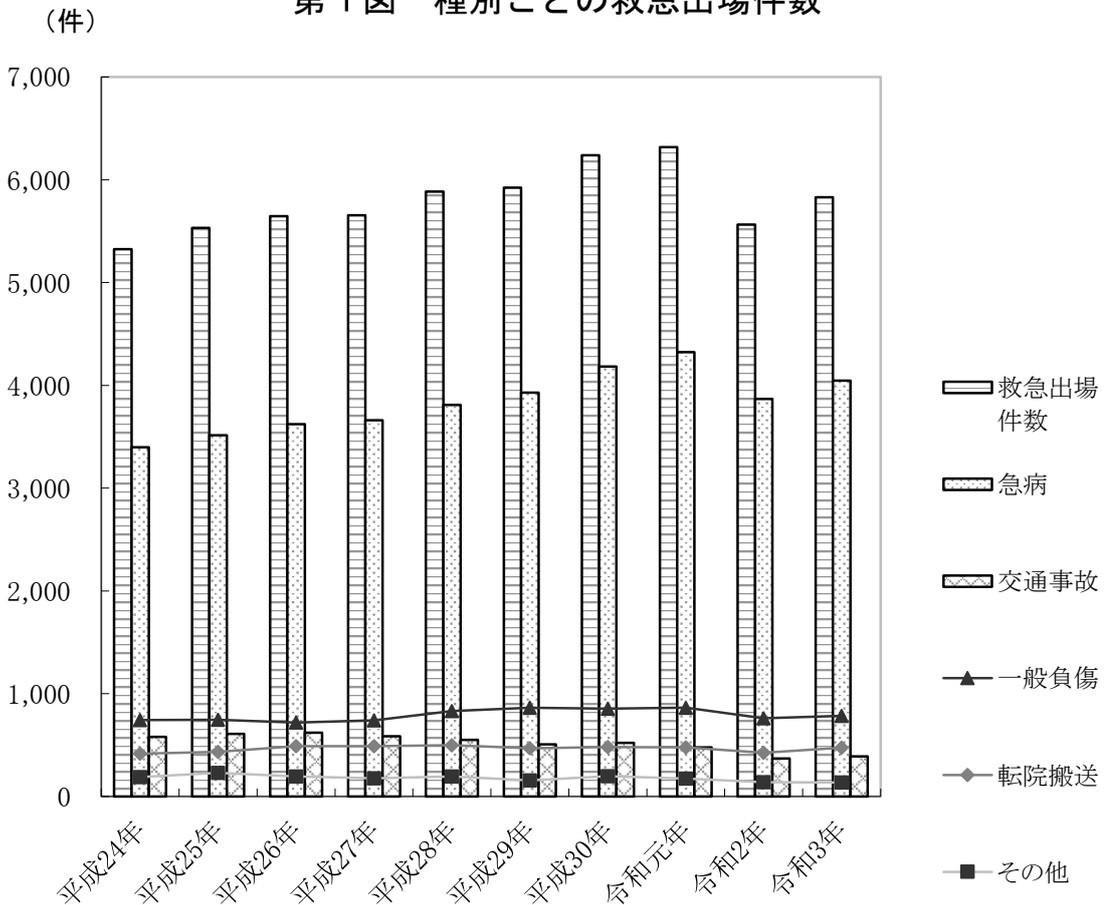
事故種別 署別		火	自然	水	交	労	運	一	加	自	急	そ	合	
		災	災	難	通	働	動	般	害	損	病	他	計	
本 署	令和2年	件数	13		1	114	15	2	190	2	5	1,022	68	1,432
		人員				139	15	2	188	2	5	976	68	1,395
	令和3年	件数	14		1	113	12	1	211	5	11	1,093	66	1,527
		人員	4		1	112	11	1	207	5	10	1,042	66	1,459
稲 沢 東 分 署	令和2年	件数	8			147	28	4	324	7	11	1,687	209	2,425
		人員	2			136	28	4	313	5	7	1,609	210	2,314
	令和3年	件数	3		1	162	16	10	335	4	21	1,794	247	2,593
		人員				158	16	10	329	4	17	1,697	247	2,478
祖 父 江 分 署	令和2年	件数	1			42	5	2	115	1	6	533	102	807
		人員				43	5	2	114	1	1	514	103	783
	令和3年	件数			3	43	7	3	92	1	2	551	102	804
		人員				43	7	3	92	1		537	102	785
平 和 分 署	令和2年	件数	1			68	14	5	133	1	7	625	47	901
		人員				74	14	5	131	1	5	607	47	884
	令和3年	件数	2			73	8	1	146	2	8	607	59	906
		人員				73	8	1	143	2	8	587	59	881
合 計	令和2年	件数	23	0	1	371	62	13	762	11	29	3,867	426	5,565
		人員	2	0	0	392	62	13	746	9	18	3,706	428	5,376
	令和3年	件数	19	0	5	391	43	15	784	12	42	4,045	474	5,830
		人員	4	0	1	386	42	15	771	12	35	3,863	474	5,603

# 種別ごとの救急出場件数

過去10年間の救急出場件数を見ると、令和2年に減少したが、令和3年は前年と比べ265件増加している。

また、種別ごとに見ると、急病が最も多く令和3年は4,045件出場している。

第1図 種別ごとの救急出場件数



第2表

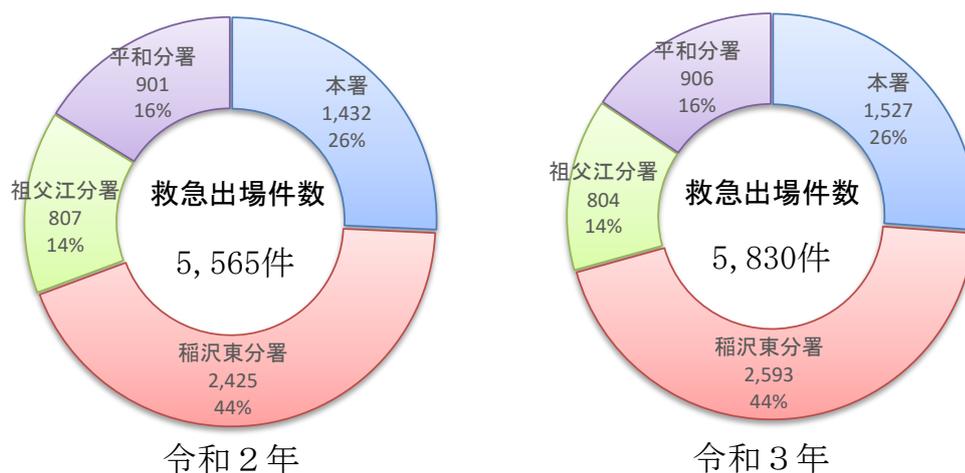
種別 \ 年別	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
救急出場件数	5,323	5,531	5,647	5,653	5,884	5,923	6,238	6,316	5,565	5,830
急病	3,396	3,514	3,621	3,661	3,810	3,928	4,184	4,323	3,867	4,045
交通事故	581	608	622	587	551	507	522	478	371	391
一般負傷	742	745	719	739	830	862	854	864	762	784
転院搬送	416	434	490	490	499	470	482	477	426	474
その他	188	230	195	176	194	156	196	174	139	136

## 署別救急出場件数

救急出場件数 5,830 件を署別に見ると第 2 図のとおり稲沢東分署が 2,593 件と最も多く、次いで本署、平和分署、祖父江分署の順となっている。

前年と比較すると、稲沢東分署は 168 件、本署は 95 件、平和分署は 5 件の増加で、祖父江分署は 3 件減少し、合計 265 件の増加となった。

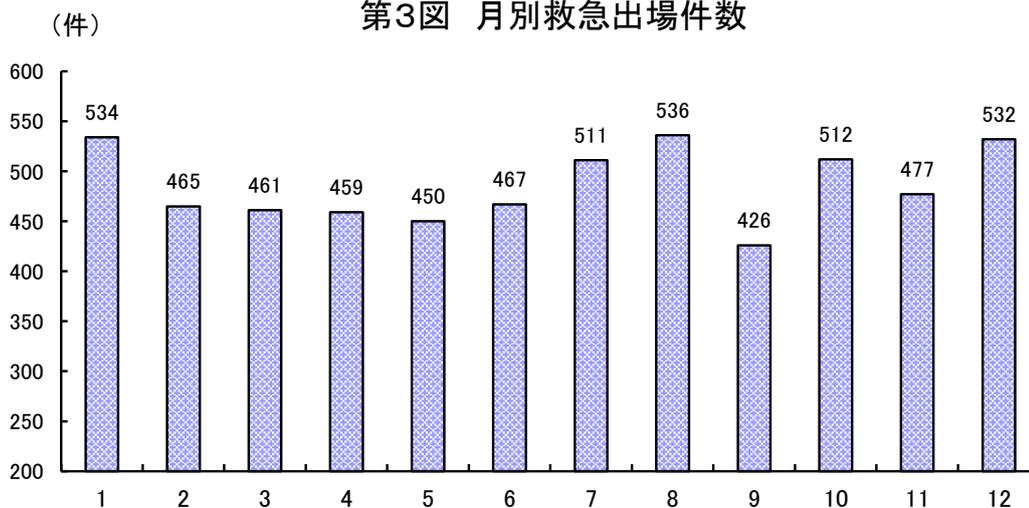
第 2 図 署別救急出場件数



## 月別救急出場件数

救急出場件数 5,830 件を月別に見ると、第 3 図のとおり、8 月が 536 件と最も多く、次いで 1 月、12 月の順となっている。最も少なかったのが 9 月の 426 件で、月平均にすると約 486 件となる。

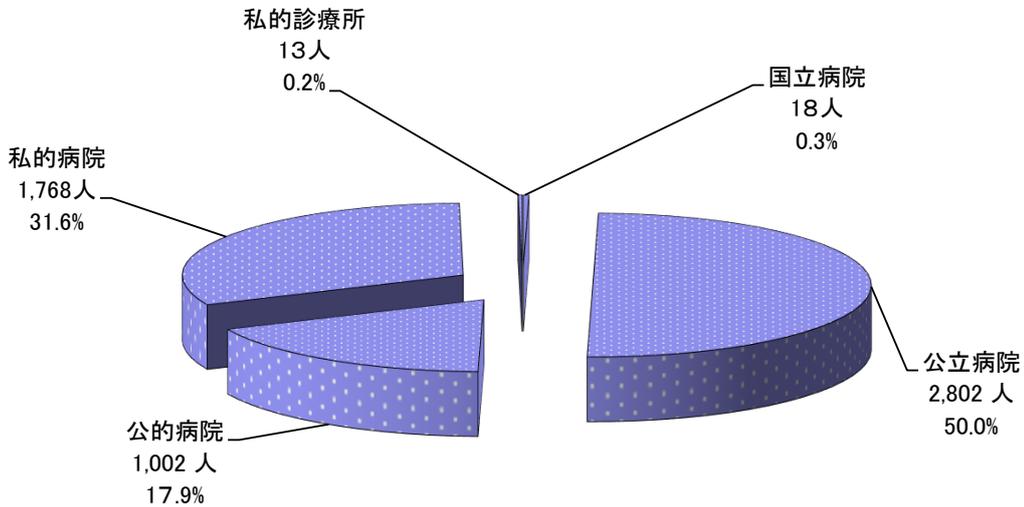
第 3 図 月別救急出場件数



## 医療機関別搬送人員

搬送された5,603人の搬送状況を医療機関別に見ると、第4図のとおり公立病院が2,802人と最も多く、次いで私的病院、公的病院の順となっている。

第4図 医療機関別搬送病院

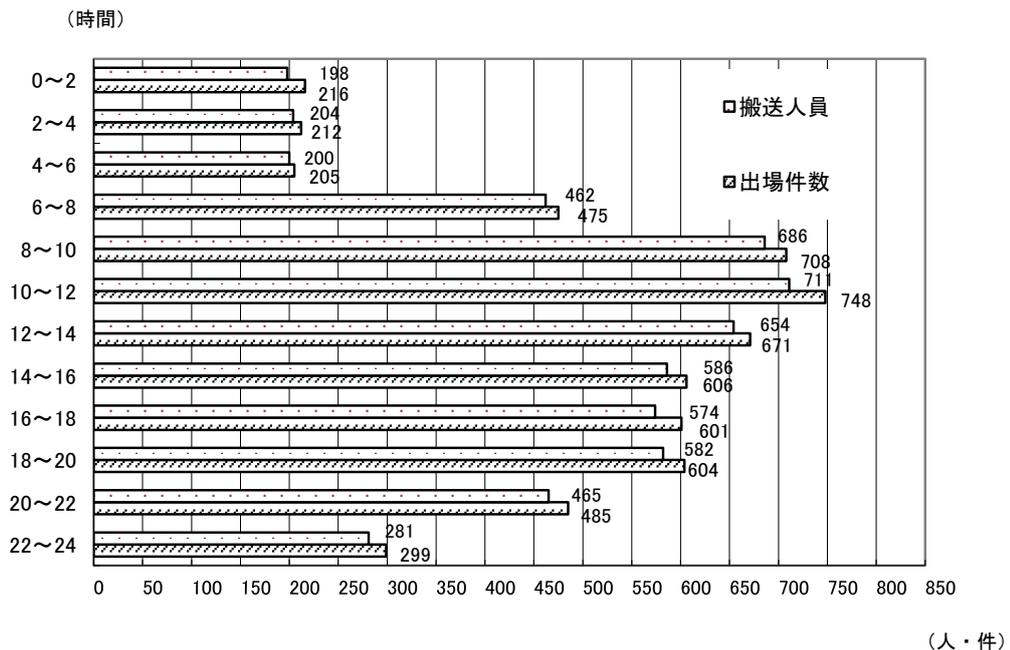


## 時間別救急出場件数及び搬送人員

救急出場件数5,830件及び搬送人員5,603人を時間別に見ると、第5図のとおりである。

出場件数は10時から12時の時間帯が748件と最も多く、次いで8時から10時と12時から14時になっており、最も少ない時間帯は4時から6時の205件となっている。

第5図 時間別救急出場件数及び搬送人員

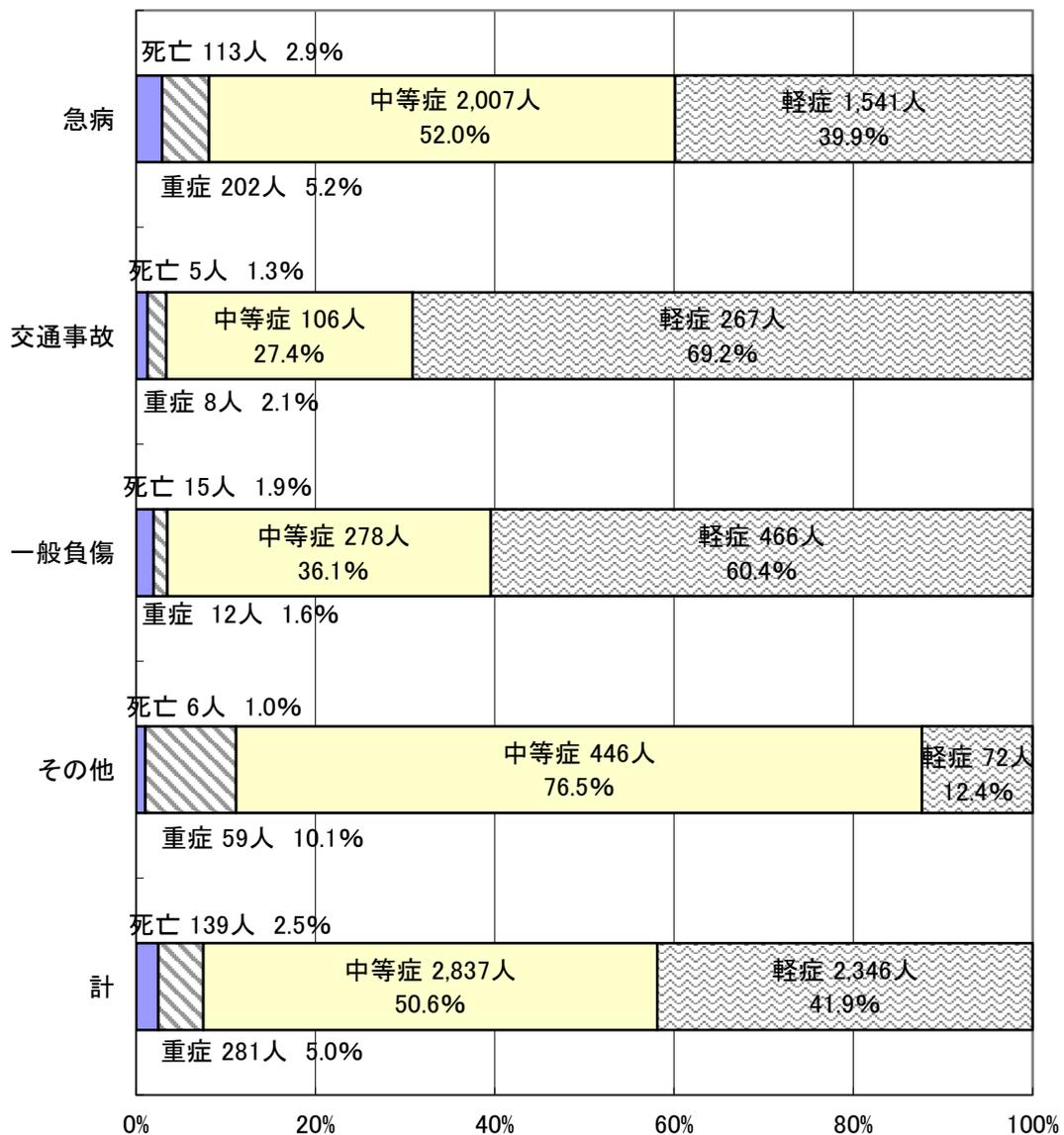


## 傷病程度別搬送人員

搬送人員 5,603 人の傷病程度別状況は第 6 図のとおりであり、中等症が 2,837 人と最も多く、次いで、軽症、重症、死亡の順となっている。

事故種別による中等症割合は、そのほか約 76.5% と最も多く、次いで急病、一般負傷、交通事故の順となっている。

第6図 傷病程度別搬送人員の状況

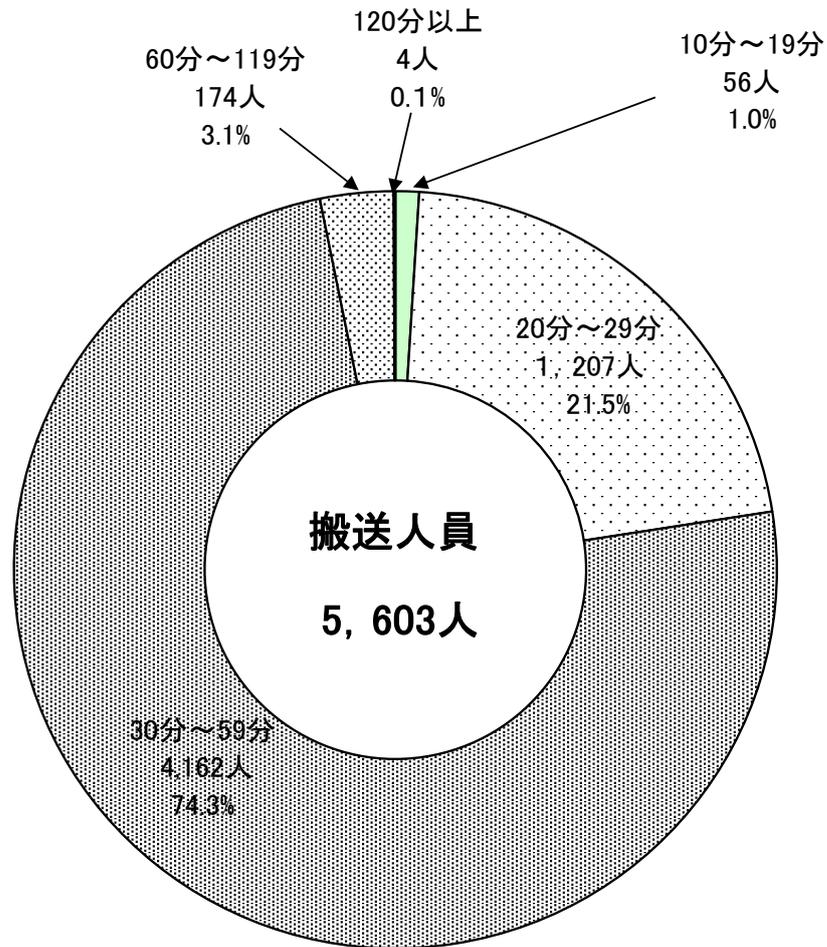


## 収容所要時間別搬送人員

搬送人員 5,603 人について収容所要時間（救急隊の覚知から医療機関等に収容するまでに要した時間）を見ると、第7図のとおりである。

搬送人員の 1.0% が 20 分未満で病院に収容され、30 分未満になると 22.5% が収容されている。しかし、30 分以上は 77.5% であり、この中には管外の医療機関への搬送や転院搬送により収容まで時間を要したものが含まれている。

第7図 収容所要時間別搬送人員の状況



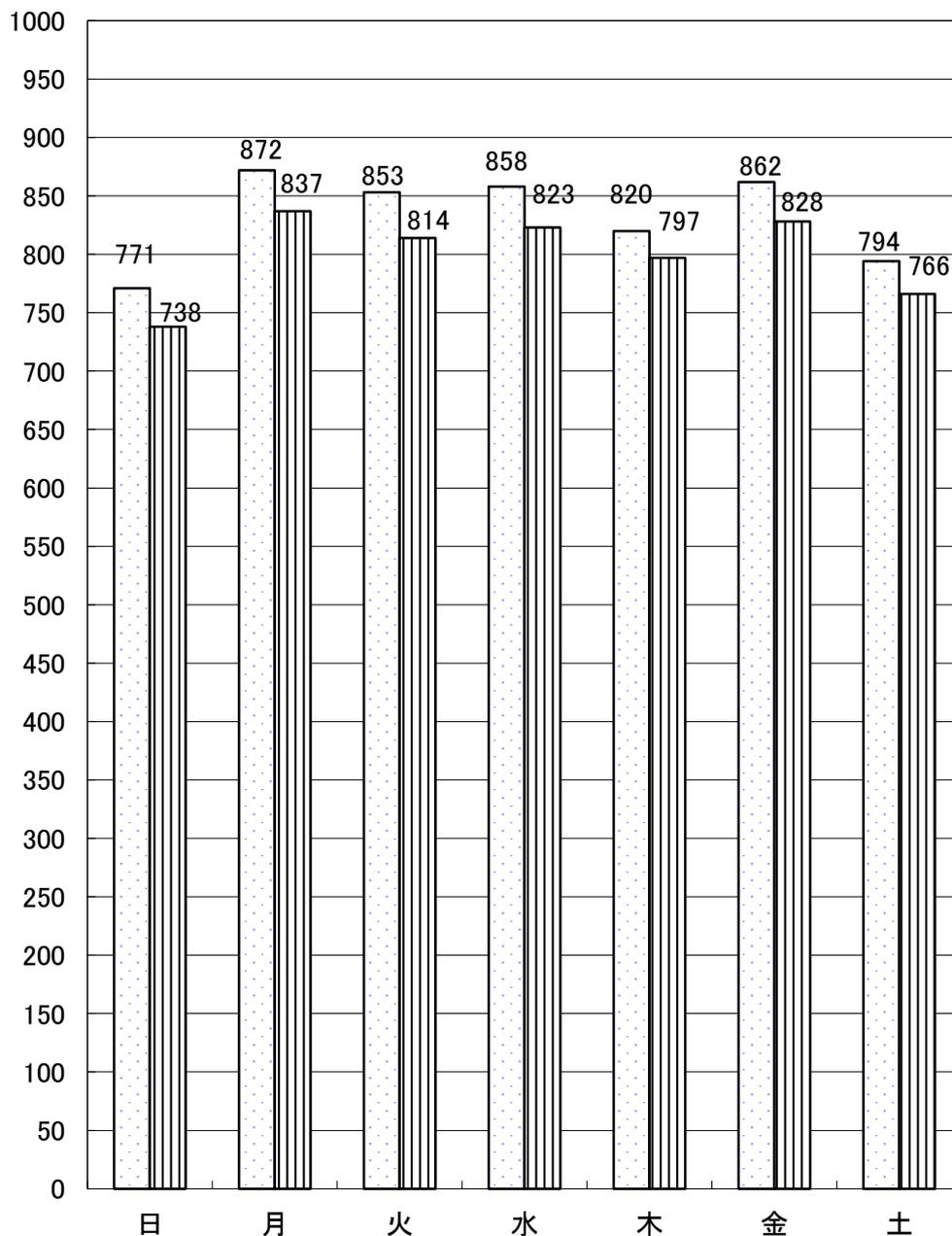
## 曜日別救急出場件数及び搬送人員

救急出場件数5,830件及び搬送人員5,603人を曜日別に見ると、第8図のとおりである。

出場件数は、月曜日が872件と最も多く、次いで金曜日、水曜日の順となっており、最も少ないのは日曜日の771件となっている。

搬送人員は、月曜日が837人と最も多く、次いで金曜日、水曜日の順となっており、最も少ないのは日曜日の738人となっている。

(件・人) **第8図 曜日別救急出場件数及び搬送人員** □ 出場件数 □ 搬送人員



## 救 助 概 況

救助出動及び活動状況は、次表のとおりである。

救助出動件数は82件で、前年の57件と比較すると25件増加している。

出動件数を事故種別で見ると、建物等による事故が29件（35.4％）で最も多く、次いで交通事故が28件（34.2％）となっている。

救助活動件数は39件であり、この活動により37人を救出している。

救出人員数を事故種別で見ると、建物等による事故が16人で全体の43.2％を占めている。

(件)

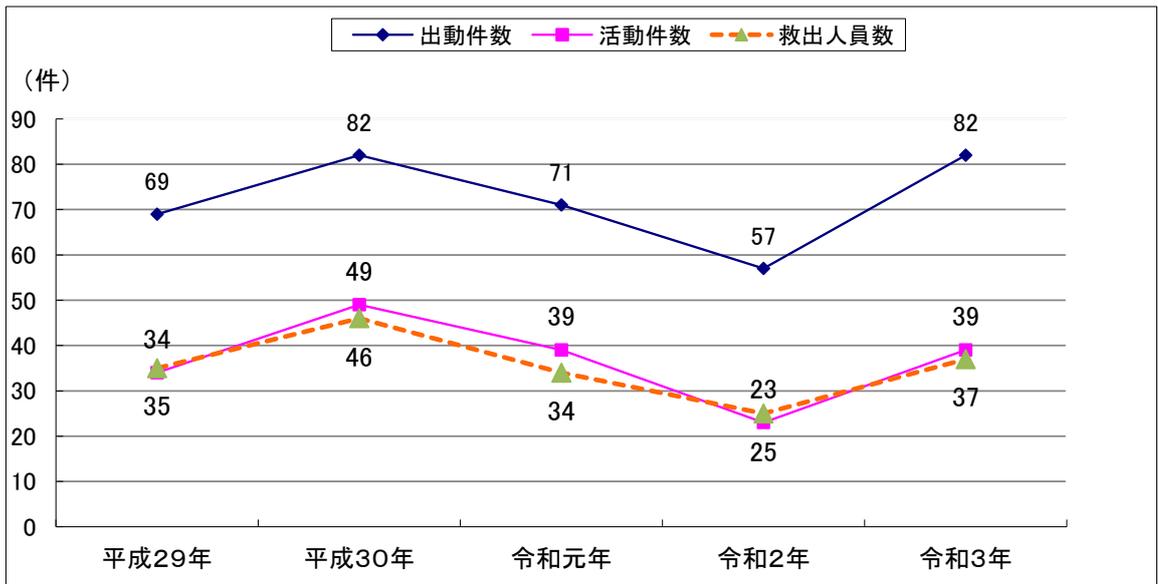
署別		事故種別	事故種別							合計	
			火災によるもの	交通事故	水難事故	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	自然災害		その他の事故
本署	出動件数	令和2年		9	2					5	16
		令和3年	1	9	1		14			6	31
	活動件数	令和2年		5	1					2	8
		令和3年	1	6			7			2	16
	救出人員	令和2年		7	1					2	10
		令和3年	1	6			7			2	16
稲沢東分署	出動件数	令和2年		4		1	1			12	18
		令和3年		11	2		10	1		8	32
	活動件数	令和2年		1			1			5	7
		令和3年		4			7	1		2	14
	救出人員	令和2年		1			1			5	7
		令和3年		4			6	1		2	13
祖父江分署	出動件数	令和2年		4	2					8	14
		令和3年		1	3		2	1		1	8
	活動件数	令和2年			1					3	4
		令和3年			2		2			1	5
	救出人員	令和2年			1					3	4
		令和3年			1		2			1	4
平和分署	出動件数	令和2年		3						6	9
		令和3年		7			3			1	11
	活動件数	令和2年		2						2	4
		令和3年		2			1			1	4
	救出人員	令和2年		2						2	4
		令和3年		2			1			1	4
合計	出動件数	令和2年	0	20	4	1	1	0	0	31	57
		比率(%)	0	35.0	7.0	1.8	1.8	0	0	54.4	100
		令和3年	1	28	6	0	29	2	0	16	82
		比率(%)	1.2	34.2	7.3	0	35.4	2.4	0	19.5	100
	活動件数	令和2年	0	8	2	0	1	0	0	12	23
		令和3年	1	12	2	0	17	1	0	6	39
	救出人員	令和2年	0	10	2	0	1	0	0	12	25
		令和3年	1	12	1	0	16	1	0	6	37

過去5年間の救助出動件数を見ると、第1図のとおり平成30年及び令和3年の82件が最も多く、次いで令和元年の71件となっている。

救助活動件数を見ると、平成30年の49件が最も多く、次いで令和元年及び令和3年の39件となっている。

救出人員数を見ると、平成30年の46人が最も多く、次いで令和3年の37人となっている。

**第1図 過去5年間の救助出動等の推移**



救助出動した82件を署別で見ると、第2図のとおり稲沢東分署が32件（39%）と最も多くなっている。

**第2図 署別出動状況**

